

府中支店 高校での交通安全教室 開催

23日

JA広島市とJA共済連広島などが支援して、自転車交通安全教室を県立安芸府中高等学校で行いました。全校生徒約600名が、見守るなか、危険な自転車走行により起こる交通事故をスタントマンが再現し、交通事故の悲惨さを知ってもらいました。



広島バスセンターに 広島菜漬売り場開設

27日

中区の広島バスセンター3階の物販店舗「バスマチストア」で、広島菜漬センターの広島菜漬など4商品の取り扱いが始まりました。同菜漬センターの吉田耕司総合所長は「観光客など利用者の多い場所での販売をきっかけに、川内産の広島菜漬をもっと知ってもらいたい」と売り場開設によるPR効果に期待を寄せています。



電化すてきフェアで 管内農産物をPR

20日 21日

中区の紙屋町シャレオ中央広場で開催された中国電力主催のイベント「電化すてきフェア」に出展し、管内産農産物の販売や子ども共済の相談ブースを設けました。特設ステージでは、中筋野菜生産出荷組合の福島正輝さん、福島幸治さんによるシェンギクやミズナ、JA職員による小河原たまごのPRをしました。



安佐支店 ファーマーズフェア開催

21日 22日

農繁期を前に安佐支店ファーマーズショップ隣接のコムズ駐車場で、農業資材などを展示・販売するファーマーズフェアを行いました。当日は、刈払機やチップソーなどが特価とあって多くのお客様までにぎわいました。次回は8月に開催予定です。お楽しみに!



地産地消クッキング 春の味覚「タケノコ」を満喫

10日



西区井口の鍛冶山政隆さんが生産したタケノコを食材に使い、ANAクラウンプラザホテル広島の大森一憲シェフ考案のレシピ「タケノコとシーフードのパエリア」と「タケノコと彩り野菜のカボナータ」の2品を調理。「和」のイメージの強いタケノコ飯と煮物を洋風にアレンジしたアイデアメニューに、鍛冶山さんも参加者も舌鼓を打ちました。

RCC「元就。」に 湯来町のタラの芽生産者出演

15日

佐伯区湯来町でタラの芽を生産する木元千鶴さんが、15日放送のRCC「元就。」の取材を受けました。ハウスの中を案内し、独特のふかし栽培を紹介。伏せ込む前のタラの木を切ってもらったり、新鮮なタラの芽を味わってもらったりしました。



祇園パセリをテレビでPR

17日 19日

安佐南区祇園の祇園出荷組合のみなさんが、NHKの「ひるまえ直送便」と「お好みワイド」に出演し、祇園パセリを多くの方に知ってもらおうとPRしました。祇園パセリを使ったパンケーキやパセリジュース、かき揚げなどさまざまなレシピを提案するみなさん。木下登組合長は「飾りではなくパセリそのものを味わってほしい」と話します。



支店を拠点にふれあい活動

水内支店 災害協力協定調印

18日

地震や土砂災害など緊急時の一時的な避難場所として水内支店の敷地や施設の一部を地域住民に利用提供する「災害協力協定」に、JA広島市と佐伯区上五原町内会自主防災会が調印しました。この協定は、町内会の「安全かつ利便性が高い立地にあるJA」と、JA広島市の「防災拠点づくりを通して地域に役立ちたい」との想いが重なり、実現しました。



LC戸河内支部 小学生とカレーづくり

5日

LC戸河内支部では、初めての取組みとして、これまで毎月「ちゃぐりん」を寄贈していた地元の上殿小学校の小学生とともにカレーをつくり、これまで以上に絆を深めました。



東雲支店 邇保姫神社春祭りに出店

22日

東雲支店は、南区の邇保姫神社の春祭りに初めて出店し、新谷和博理事とともに野菜やカーブ応援米、広島菜漬などを販売しました。用意した商品は早々に完売しました!



新入職員40名 元気に入協式

2日

40名の新入職員がJA広島市の仲間入りをしました。新入職員を代表し、小松寿親さんが「何事にも臆せず積極的に挑戦し、日々成長を積み重ねていきたい」と決意表明を行いました。6月までの3か月間、JAの事業や実践で役立つ知識・スキル、また農業実践などの研修を経て、各支店等へと配属になります。



JA広島市農業塾OB会総会

7日

第20回通常総会を開催。平成29年度活動報告や平成30年度の活動計画が決議されました。記念講演では、日本農業新聞の柳沼志帆記者が「農業のトレンド」をテーマに、直売所や6次産業について講演を行いました。



JA広島市 生き生き“え~のう”塾 入塾式

9日

栽培技術の向上を目指す中核農家の支援を目的とした担い手育成事業として、4名の研修生を受け入れました。研修生は今後、週3日の実技を中心に、座学で農業に関する知識や農業簿記などの研修を1年間受講します。

